

## 第8期第4回 豊栄地区公民館運営審議会 会議録

---

日時： 令和5年1月18日（水） 午前10時～正午  
会場： 豊栄地区公民館 大講堂  
参加者： 豊栄地区公民館運営審議会委員 東委員、梅津委員、大原委員、神田委員、  
日下委員（議長）、倉島委員、栗原委員、  
土田委員（副議長）、マルシェフ委員、渡辺委員  
豊栄地区公民館 渡辺（館長）、立川（主任）、佐藤、小池  
北地区公民館 岩本（館長）、風間  
傍聴人： 0名

---

### 1 開会

### 2 館長あいさつ

### 3 議 事

#### (1) 令和4年度事業経過報告について

（事 務 局）令和4年度事業経過報告（豊栄地区公民館）

（日 下 議 長）今の経過報告を聞きまして、何かご意見・ご質問や詳しく聞きたいなどでもいいですし、説明いただいた事業に関しての感想でも構いません。何かご意見のある方いらっしゃいませんか。

（栗 原 委 員）今の事業報告を聞いて、コロナの影響で中止の事業がいくつかありますが、今年度もこのままコロナがなくなることはないだろうと思っていますが、継続で事業が中止になることはあるのかどうか。それと、人数制限したりして事業を実施していますが、今後募集人員を増やしてやっていくのかどうか、どこまでの感染対策をしていくのかをお聞きしたい。

（立 川 主 任）今ご質問いただいたことについて、中止した事業の「北区市民茶会」につきましては、お茶を飲むという行為があるということで各流派の先生にお集まりいただいて相談した上で中止にしました。「豊栄大民謡流し」については、今までの参加団体に病院や福祉施設の団体が多く、参加団体が見込めないこと、コロナ禍で協賛金など収入も不足で赤字になる可能性が高いことなどの理由から実行委員会で協議し中止しました。その他の事業につきましては、ガイドラインに沿って人数を絞ったりして、密にならない形式にすることや参加者の連絡先の把握を行い、いざという時に連絡が取れる体制で事業を実施しているところです。保育についても1人につき2人までしか保育ができないなどのガイドラインに基づいて実施しております。より多くの参加者も

求めたいのですが、今は感染対策を行いガイドラインに沿ってやらなくてはいけないと思っております。ただ、一般的な講話とか講演会など、参加者と話す方と距離が取れるなどの感染対策がとれる事業については、参加人数を50～60人入れることは可能と思いますので、ガイドラインや実施方法によって、募集人員を考えて、できるだけ多くの皆さんに参加いただけるように事業を計画していきたいと思っております。今後、その他の事業についても、感染対策をしながら実施したいと思っております。

(日下議長) ありがとうございます。併せて私の方から一つ聞きたいのですが、3頁の上の段、幼児家庭教育学級の評価のところ、今後はハイブリット講座も視野に入れて考えていきたいとあるのですが、もう少し詳しく説明していただけたらと思います。

(立川主任) オンラインと顔を合わせてやる事業を両方やるということですが、欠席するとその講座を見られないということから、ZOOMとかでつないで事業を必要に応じてやらなければいけないのかなと考えております。ただ、できれば顔を合わせてやりたいというのが本音なので、先程説明した通り、今年度は「ユースセミナー」などは全てZOOMを使ってオンラインでやっている講座もありますので、実施できるかどうか、参加人数なども考えて検討していきたいと思っております。

(日下議長) ありがとうございます。先程のお話でWithコロナ時代にやっていく時にZOOMという方法を取ることで参加者が見込めたり、対面だと参加できないけれど、ZOOMであれば参加できるという意味では、選択肢が広がるとても有効な手段なのかなと思います。対面を大事にしていきたいということはわかるのですが、対面だけではWithコロナの時代では、対応が難しいと思いましたが、本当に色々な工夫をして事業を実施していることがわかりました。ありがとうございます。何か他にご意見ございますか。

(東委員) 今説明のあった3頁の3番と幼児期家庭教育学級については、中学生の保護者は特に関わらないわけですね。あとで北地区からも話があると思いますが、中学生保護者向けの講座みたいなものがあると、PTA活動もなかなか制限がかかっている中で、集まりにくい状況もあるので、その辺の事業も考えていただけたらと思います。下の3番の子ども土曜公民館とか、サタデイキッズとかチャレンジキッズなど小学生向けはあるのですが、中学生向けがないので、今回みたいに小学生の参加が少ないものもあるので、中学生も是非参加できるようにしていただけると、今後も中学校部活の地域移行もありますので、とてもありがたいと思っていますところでは。

(立川主任) 今まで青少年育成研究大会で実施した学校関係者や保護者向けの講演会などで、中学生のPTAの方に聞いていただいたりしたのですが、今回、北区青少年育成協議会連合会が、全市で中間組織としてあるのが、北区と秋葉区だけということと役員の方々や先生に相当負担がかかっているということで、発展的に解散したわけですが、その際も何か良い講演会などがあれば教えて欲しいとの要望もありましたので、そのような事業があれば情報発信していきたいと思います。子ども土曜公民館の茶道教室には、昨年度までは中学生の参加が結構ありましたので、中学生向けの事業として枠を広げていけたらと思っています。

(日下議長) ありがとうございます。今おっしゃったように部活の地域移行を進めていく大きな課題なのではないかと思っています。そう考えると生涯教育のできる地域の公民館の役割は大きいのではないかなという期待を込めて。是非中学生の中に公民館の存在が意識づけられるようになってありがたいなと思います。よろしくお願いします。他にご意見ございませんか。

(梅津委員) 5頁の女性セミナーのところです。「私たちを取り巻く アンコンシャスバイアス」ということで、すごいところに目をつけてやってくださっていると思いました。本当に無意識の偏見とかに気付いてほしい。女性だけではなく、男性にも気づいて欲しいのが私の願いなのですが、本当に無意識のジェンダーバイアスの克服、これから人生を自分らしく生きていくことについて、やはり男性も女性もなく、そのような理解が進んでいくといいなと思っています。男女格差は先進国の中で一番低い最下位ということで、それがずっと最下位を守り続けている辺りが非常に残念に思いますし、中国とか韓国よりも日本は男女格差がありすぎてということなので、社会全体が変わっていくような働きかけを女性セミナーだけではなく、男性にもその機会を設けていただけるように、来年度考えてほしいかなと思っています。私の願いです。

(立川主任) 担当者と話しながら男性にもそのような機会が設けられるよう、単発的な講座になるかもしれませんが考えていきたいと思っています。

(日下議長) ありがとうございます。他の何かご意見、ご質問がある方いらっしゃいますでしょうか。

(大原委員) 私からは感想です。4頁で「ハロウィン(仮装)でごみ拾い」については、恐らく時期が小学校でいうと文化祭の時期と重なっているのかなと思いました。やっていただく時期と子どものニーズと、教えていただける講師の魅力があるとたくさん集まると思います。その下のチャレンジキッズのマンガに関する教室は、見ただけでワクワクしてきました。例えば不登校のなかなか学校に来れないお子さんは、イラストが好きなお子さんがとても多いと、僕

は何となく思っております。夏休み中、しかもプロの方から教えていただける機会を作っていただいていることは大変ありがたいです。ところが小学6年生までが対象ということが少し残念で、ここは中学生まで広がってれば、中学生ももしかしたら多く参加したのかもしれない。イラスト好きの子どもたちもいると思うので検討いただきたいと思います。

(立川主任) 非常に貴重な意見でしたので、参考にしたいと思います。

(日下議長) 他の何かご意見はございますでしょうか。

(東委員) 今回の件もそうなのですが、来年度木崎中学校は制服を改定してブレザー型に改定するのですが、ユースセミナーの3回目に井浦さんからご講演いただいた事業（SOZIを考える）などは、本当であれば中学校でもこういう方に来ていただいてLGBTQの話をしてもらいたいもので、次年度やれたらと考えております。何かしら学校とのつながりが持つことができたり、先程梅津委員からも話がありましたが、男女格差というか、その辺についても大事な視点であると思っているので、色々なところに中学生も参加できるようにすると、興味持っている子とか、悩んでいる子とかいると思うので、枠をちょっと拡大していただけるとありがたいと思っております。併せて、チラシ等も中学校の体育館とか武道場を社会体育で利用している団体もいますので、そのような団体に見てもらえるように貼るとか、私も北区には住んでいないので、学校にチラシをもらえれば職員でチラシを回覧したり掲示したりして、教員や中学生も目にしたりすることができます。また、メール配信で保護者に送ったりしているものもあるので、中学生の保護者向けの講座とか情報発信してもらえると、公民館で実施しているものを知っていただけるかなと感じているところです。

(立川主任) 非常に参考になりました。

(日下議長) 今回の話を受けて、公民館の強みに多彩な講師の人脈を持っているのは大きいと思いますので、中学校だったり、小学校に色々な団体の方たちがニーズを抱えていて、それがこういった話し合いの場で合致することがあるかもしれないこと、見つかるのいいところかなと思います。こういった情報発信をしていただくことが、学校や地域の方からも、こういうニーズがあるけどどうだろうなどの話があったり、参加枠であったり、やり方であったり、色々変えていくことで、また公民館と繋がっていくと思います。よろしく願います。他に何かございますでしょうか。

では、私から1点お伺いしたいのですが、最近ニュースでうっかり校長先生が使ったイラストに著作権があったなんてニュースを見たのですが、もちろんそういうことを踏まえた上で作成していると思いますが、公民館の方で

作られている色々なチラシに使用されているイラストについては、こういったガイドラインがあるのかお聞かせいただければと思います。

(立川主任) ガイドライン的なものは特にないのですが、著作権フリーのところからダウンロードするなりして使っています。北区展などでは、ポスターを長年デザインしてくれている方がおられますが、そのポスターのデザインを基に、目録やDMでデザインにもつかってよいかどうか、承諾を得て使っています。

(渡辺館長) 補足です。チラシの作成ですが、私たちも研修を受けながら常に色々なチラシを見ながら、どうにか人集めのできるチラシが出来ないかと日々取り組んでおりまして、今年度受けたチラシ作成の研修ではC a n v aのソフトを使っておりまして、本日お配りした資料でも割と新しい印象の物があると思いますが、C a n v aというソフトを使ってのチラシの作成に今年度挑戦しています。C a n v aは、IDを登録して使う手順があるので、イラストは無料で著作権フリーの物しか取れないということになります。有料のイラストはお金を払ってから採用すると、仕組みがきれいに分かれていますので、そこは安心しております。これからもC a n v aをどんどん利用して、新しいチラシを安心して作成していきたいと思っておりますが、著作権には気をつけていきたいと思っております。

(日下議長) ありがとうございます。ちなみに北地区公民館も同じような研修を受けているのでしょうか。

(風間主査) チラシの研修は公民館全体での研修になっていますし、北地区公民館では様々な著作権フリーの文字フォントも使用しており、画一的な表現にならないように工夫しております。

(日下議長) ありがとうございます。しっかり配慮をされた上でチラシを作成していることを聞いて安心いたしました。他に何かございますか。

(東委員) 8頁の(2)「平和学習事業」ですが、中学校で広島の式典に参加出来たりする事業を市教委の方でやっているのですが、そこに申込みした子がいて、残念ながら行けなかったのですが、次年度もこういう事業があれば、中学生に是非紹介いただきたいと思っております。

(立川主任) 来年度も7月30日(日)に開催することが決まりました。今年度も小学生が参加し、終わった後に劇団の方と写真を取ったりしてコミュニケーションを図っておりました。来年度は、小中学校の方にチラシを配布させていただき情報発信したいと思っております。

(日下議長) ありがとうございます。他にご意見のある方いらっしゃいますでしょうか。それでは、運営審議会といたしましては、豊栄地区公民館の経過報告に対しては、Withコロナの中、工夫して色々な事業を色々な視点をもって企画されているところを評価いたします。特に中学生に関して、対象を広げていくことで、お互い学習の場が広がり、参加者も増えて良い方向に繋がるのではないかという意見が多方面から出ました。今後の事業に活かしていただければと思います。続いて北地区公民館の説明をお願いします。

(事務局) 令和4年度事業経過報告（北地区公民館）

(日下議長) ありがとうございます。何かご意見・ご質問ございますでしょうか。感想をもっと詳しいことを聞きたいでも構いません。

(土田委員) 北地区公民館のチラシで、先程のピンク色のチラシでもそうなのですが、対象を「どなたでも」とか、「関心のある方」はどうぞみたいな一言があると、対象を狭めて年齢とか学年とかある中で、私は興味があるから行ってもいいのかなと思う方が一歩踏み出せるのかなと思いました。あと、北地区公民館だけではなく、濁川公民館と南浜公民館で開催する企画があると、どうしても足を運べない方でも、地域にある公民館の事業に参加できたら交流が生まれて、そこから広がって北地区公民館に少し足を延ばしてみようかなという気持ちになったりするのではないかと思います。11月開催でも1～3月で次につなげられるのですが、できたら早めだと、もしかしたら早く次に繋がって広がるものもあるのかなと思ったりしました。こういうのは、豊栄地区公民館の協力があつたら、もう1個企画ができたりすると思うのですが、管轄の面で出来ないものでしょうか。

(風間主査) 北地区公民館が南浜公民館と濁川公民館を分館として管轄しているものですから、年間の計画として数は少ないですが主催事業として最寄りの公民館へ来ていただくよう企画しているものです。新潟市内の公民館で行っている事業については、区だよりとかチラシとか他の区の公民館などにもチラシを配布しておりますので、興味や関心があれば参加できます。北地区公民館のキネマ劇場なんかは、関心があつてこの作品をみたいとなれば、結構区外からも来ていただいておりますので、そういった意味では近くの公民館全てでできるわけではないですけど、開催場所から遠くなる方も是非来てくださいという形で行っています。広報は区だよりばかりではなく、チラシでもやっておりますので、現状のやり方としては、そういう形でやっています。

(日下議長) 詳しい説明ありがとうございます。他に何かございますでしょうか。

(神田委員) 個人的に北地区公民館主催の落語とかマジックはとてもいい企画だと思います。チラシの配布とか、広く豊栄地区の方もその企画を知ることができたら、興味のある方は行くかと思うのですが、もう少し規模を拡大したり、落語やマジックなどに興味がある人に広く教えていただくと助かると思うのでよろしくお願ひしたいと思います。

(岩本館長) ご意見ありがとうございます。そのように努めていきたいと思ひますし、現状につきましては、私ども公民館だけではなくて、豊栄地区公民館や他の隣接の公民館へチラシをお送りしております。事業を行う場合は区だよりも告知させていただいております。あと関係する施設のところにもチラシを置くようにしております。それが十分かと言われると十分かどうか言えませんが、どの事業に限らずそのようにさせていただいているのが現状でございます。

(日下議長) ありがとうございます。他にご意見ございませんでしょうか。

(栗原委員) 1番の有情のまち中学生ガイド養成ですが、非常に良い企画だなと思ひます。豊栄の方もこのようなことを取り入れて、中学生にこのような所に来てもらうことが大事で、楽しかったということになれば、その次に進んでいくのかなと思ひます。葛塚中学校で3年前に防災訓練をやった時に、各教室に色々なブースを設けて、そのブースに地域の人を中学生に案内をしてもらいました。地域の方は避難者として避難してきていたので、何班かに分けて中学生にガイドをお願いし、葛塚中学校は非常に複雑な構造なので、何処から入ってどこから出ればいいのかかわからいところがあって、中学生に説明してもらったら非常に参加者が喜んでいたので、なるべく地域と中学生、公民館と中学生が結びつくようにやるのが一番かなと思ひます。是非こういう講座を考えていったらよいかかなと思ひます。

(立川主任) 中学生の講座も考えたいのですが、自治協の方でも中学生なども対象にし、防災関係のNPO法人の方を呼んで防災の講座がありますし、北区の地域総務課の防災担当とか、北区の防災士の会とも連携しながらやっているものもありますので、防災は地域と繋がる一番手取り早い手法でもあるので検討していきたいと思ひます。ただ、今何をやるかすぐには言えないですけど、中学生を様々な事業に取り込めるような工夫をしていきたいと思っております。

(日下議長) ありがとうございます。今のお話の中で、自治協だったり地域総務課だったり、別の団体の名前も出てきて、そのお話を聞いて、今年度から全市で始まったCS会議がありまして、地域総がかりで子どもを育成していくというのがうたわれております。中学生と公民館に皆さん光を見出していると思ひます。

いますが、是非他の団体とも連携して、それぞれの役割分担をすることで、できるだけ負担を少なく、情報を共有する形で、今の防災のような話が進んでいくことが、目指すべき姿ではないかなと聞かせていただきました。是非公民館へというよりも我々も含めて色々な立場でお互いに検討していければと思っています。よろしく願いいたします。何か他に意見ございますでしょうか。

(神田委員) 北地公民館の合同作品展が10月に行われておりますが、利用団体4団体と書かれておりますが、具体的にどのような団体が参加されたのか教えていただきたいと思っております。

(風間主査) 定期利用団体の協議会(31団体)で芸能や作品展示を行う文化祭は残念ながら中止となりました。今回の作品展は4団体ということで、キルトを制作するスターキルト、水墨画の松月会、木彫り彫刻の楽彫会、山野草愛好会あかしあの4団体に参加いただきました。たまたま色々な種類の団体に展示していただいたものですから、団体数は少なかったのですが、見る側からすれば色々なものが鑑賞できたということで満足していただけたと思っております。実行委員会4団体でこの前反省会をやらせていただいたところですが、サークル活動をしている中で発表の場の機会がないと、普段活動している時のモチベーションが違うということでした。作品展は土日2日間あったわけですが、受付なども皆実行委員会の方にやっていただきました。また、受付のほかに作品の管理の必要性から、会員の方が作品近くにいたりしましたが、そうすると観に来られた方が作品に関して、色々聞いたり質問されたりすることもあるみたいで、直接ふれあいの場もあり、小さい作品展だったかもしれないですが、やって良かったんじゃないかと感じています。

(神田委員) 想像すると本当に見ごたえのある素敵な作品展だったのだらうなと感じました。ありがとうございました。

(日下議長) ありがとうございました。他に何かご意見などありますでしょうか。

(梅津委員) 子育てとか、健康作りとか、公民館事業から始まってサークルが出来ていく。これって本当に自主的に主体的に皆さんがやっていくわけですが、すごく理想の形が所々に出てきてすごくいいことだなと思っております。今回北地区公民館での方でもヨガでサークルができたということで、何人くらいで立ち上げたのか、それからヨガの先生は、今まで来た講師の先生にお願いしたのかどうか。それを教えていただけたらありがたいです。

(風間主査) 6ページのヨガの事業なのですが、参加人数は20名弱だったのですが、サークルで活動されているのは10名弱になります。受講者のうち、どうし



でも体験的な講座で終わってしまう人もいて、サークルへは半数程度の参加になりました。講座に参加した人には是非サークルとして公民館を利用して活動してもらいたいと考えていましたので、講師の方には事前に打ち合わせの際に、空いている時間をお聞きし、講座参加者が講座終了後サークル活動として続ける場合に講師として来ていただけるかどうかを確認しています。今現在も水澤先生が講師として、サークル活動のサポートをいただいているところです。

(日下議長) ありがとうございます。今のお話しであったように体験的な活動がサークルになって、本人たちで運営して続けていくという理想的な形にするのに、講師の先生に事前にしっかり調整していただくとか、根回しをしてというところとかを見させていただいたと思います。色々な工夫をして、参加された方に新たなサークル活動ができるように工夫しているのがわかりました。ありがとうございます。他にご意見のある方いらっしゃいますでしょうか。

(マルシェフ委員) キネマの映画や落語、マジックなど、ここ数年コロナで引きこもりがちで、人と会う機会が減ってしまったり、家にこもって誰とも話していなかったりする日が多くなったと聞いております。外に出てみんなと同じものを観て元気が出たのではないかと考えています。特にキネマの方は、企画も地域の方がやっているということで、どんな映画にしようとか、考えるところでも楽しく、ワクワク考えているのかなと思ひまして、とても素晴らしい活動だと思います。

(日下議長) ありがとうございます。他に何かご意見ございますでしょうか。

(倉島委員) 豊栄の方も北地区の方も、子ども対象だったり、幼児・児童期だったり参加者が少なく、先程から小学生と中学生と一緒にとか、中学生が参加できるようにしてみてもどうかなど、そうすると確かに参加者は増えるし、特に小学5・6年生と中学1年生と一緒に体験できると、今、中1ギャップと言われているところにもいいのかなと思ひました。幼児期とか児童期とかきっちり区分があるように計画を見ていて思ったのですが、そうすると小学生と中学生って一緒にしてはいけないとか区分ときまりがあるのかなと思ひました。勉強が足りない部分もあると思ひますが、その辺のきまりみたいなものがあったりするかどうか。小学校1年生と中学校1年生はものすごい差があるので、なかなか同じものを一緒にとかは難しいと思うので、小学校の高学年と中学1・2年生が混ざってできる企画とか、計画とかは可能なのでしょうか。

(風間主査) 事業の考え方だと思いますので、そういった対象を小学生とか中学生とかまで広めたもので考えた企画内容であれば可能だとは思ひます。小学生の学校のイベントの日程と中学校の学校のイベントの日程があるので、先程の豊

栄地区公民館でのマンガの講座は夏休みとか時間の融通ができる日程であれば企画は可能かもしれません。小学校高学年で4～6年というのと小学1年から6年までを対象とした講座では、かなり違いがありすぎるので、今、倉島委員も中学生にも中1ギャップがあるとか言われたので、対象をどうしたらいいか、そういうものも含めて企画を考えなければいけないと感じております。

(日下議長) 丁寧な説明ありがとうございました。内容と参加している人がマッチしているのかという難しい面があると思うので、折角なので広くお互いの交流もあり、色々な視点で捉える必要があるのかなと思います。今後よろしく願います。何か他にご意見ございますでしょうか。

(渡辺委員) お話をお聞きしていて、困難な状況の中、盛んに一生懸命活動されている苦勞がよくわかりました。私の方からは一点確認と、ひとつ提案というか、皆さんのご意見を伺っていて、思い付きのようなことですが、少しお伝えしたいことがあって発言したのですが、一点目確認なのですが、公民館活動に実際される皆さんの情報源というのは、広報活動でどういった入口から得ているのか何かデータをお持ちでしょうか。よければお聞かせください。

(岩本館長) 当然講座に参加された方には、最後に参加者からアンケートを取っています。そこでこの講座は、どこで知りましたかということを選択してもらっています。その中にチラシとか区だよりとか、友人からとかの項目があって回答をもらっております。数値的なものは、今日は持ちあわせておりませんが、満足度を含めて講座毎にアンケートを取っているところです。

(立川主任) 豊栄の方ですが、同様なのですが、区だより、HPへの掲載、Facebookへの掲載もやっています。公民館の事務室前のテレビにチラシを加工したものをモニターへ映し出しています。あとは場合によっては、新潟日報社などのマスコミへの掲載依頼とか、区役所1階の市政情報モニターなどでも情報を流してもらうとか、その他、区内の活動協力店(銀行・スーパー・コンビニ)が32事業者あり、そちらの方にポスターを貼ってもらうとかしております。小学校については学校通じてチラシの配布をお願いしたり様々なことをやっております。あと、「まるごと下越」という新発田を中心に55,000部発行しているフリーペーパーがあるので、本当に人を集めたい時はそちらへの掲載もお願いしたりしております。

(渡辺委員) ありがとうございました。すごくエネルギーを費やしていらっしゃるのがよくわかりました。それで事業の参加者とかの人数を具体的にお出ししていただいていたので、やはり若い世代のお母さん、お父さんの子育ての世代の方達と、これからこの地区で成長していってほしい小学生、中学生、高

校生の子どもたちにもう少し公民館の活動に参加して欲しいなあと感じていたのですが、それで広報が若い世代の人達に届いているのだろうかを知たくて質問させていただきました。先程委員の先生から発言がありましたが、中学生も参加できるようにというお話だったので、例えば小学校とか中学校の保護者の方に学校からのメールを可能かどうかはわかりませんが、学校からのメールであれば確実に保護者の方は開かれるのかなと思います。紙のお便りよりも、私も日々学生と接しているときに紙の文書はしっかり見ずにSNSの方が彼らは見るような印象を持っているので、面倒かもしれないですけど、HPに子ども小学生向け講座みたいな感じで見やすく行事が一覧として出してくださっているんですけど、対象者をちょっと区切っていて、どんな人に興味がありそうな講座があるのか、ポンと出るといいのかなと思っていて、そのサイトに誘導されるような形でメールに貼りつけてここを押したらそのサイトに飛びますみたいな形で、保護者が情報を得られれば子どもたちが土日どうやって過ごそうかなという時に、この土日の行事だということがわかると、少しは参加人数に繋がってくるのかなということを考えてみました。もしかすると、私がお伝えしたけども既に実施されているかも知れないので、思い付きで申しわけないですが、学校の先生方のご了解が得られるかわかりませんが、もし学校を通じて情報が発信できればものすごく訴求力が高まるのではないかと感じましたので、少し提案させていただきました。

(日下議長) ありがとうございます。いま渡辺委員の意見について何かあればお願いします。

(立川主任) 先程言い忘れたのですが、新潟市のLINEの方でも情報を配信しております。そのLINEから申し込めるようなことは既に開始しております。学校を通じてとなると、なかなか難しい部分はありますが、その辺連携しながら、まずはチラシを配ることから始めていって、その様子を見ながら保護者の方に配信可能かどうか考えていきたいと思います。いきなり全部というのは、学校に対して負担をかけることになりかねないと思っていますので、慎重に相談しながら進めていきたいと思います。

(大原委員) 理想はそのとおりです。学校も多々チラシが、市教委協賛というだけで色々なチラシが来て、それを配布するのに多忙化しております。例えば公民館チラシは現在もいただいている、学校の現状を知っている団体さんは、学級数で分けてくださっている。そのようなその先をくださる団体はありがたいと感じており、学級の棚に入れておけば担任が持って行って配ります。一日のうちに何枚も配布文書があると、また各クラスの担任が多忙になります。公民館活動で確かにギブ&テイクで大変重要なところなのですが、学校は学校の役目があり、地域は地域の役目があるということを見ると、ちょ

っとメールとなると、負担が増えるのでなかなか難しいかなと思います。チラシで留めていただけるとありがたいです。

(東 委 員) 私としては、学校には各HPを持っているので、そこに公民館のリンクは貼りつけることも一つの方法かなと思います。今までに見たことがないので、できることとできないことがあると思います。中学校はチラシをいただいでないのでわからないですが、掲示用と、一人ひとり配らなくても教室掲示とか、社会教育団体がスポーツで体育館を使うので、その団体が目に付くところに貼ったりとかできると思います。一人ひとりに配れと言われると大原委員が言われた通り大変な部分があると思いますが、できることはあるのではないかと思っていますところす。

(日 下 議 長) 学校の現状と提案といったところだったと思います。私も実際に学校の現場にいと、確かにチラシを配るのも一苦勞というのもわかりますし、メールだったら若い世代の方たちは目を通すのかもということもよくわかります。もしメールを完全にできれば、紙にする手間もなくなるのかなと思いますし、やはり移行するまでは併用なのかなと思ったりと、聞かせていただいたところす。それぞれ、それはちょっと難しいですとか、こんなことはできませんとか、言うところから始まるのではないかと思しますので、効果的な広報の仕方は公民館とは言わず、皆さん知りたいところではないかということす、ちょっとずつ工夫をして、どこかにだけしわ寄せが行くことがないやり方がみつかるると良いのかなと思いました。ありがとうございます。他に何かご意見ございますか。

(梅 津 委 員) 大原委員がおっしゃられることは私もよくわかります。その通りだと思ひます。でもサタディキッズのところす、ハロウィン(仮装)でごみ拾い10月22日の土曜日。これってどこの学校も1週間前後で文化祭をしていたりします。学校の行事とぶつかってしまっているのは、予めわかっいて欲しいかなという気がします。私はこれからの社会を良くしていくためには、学校と地域と家庭が繋がっていかなくてはいけないと思ひているので、例えば校長先生方と公民館の館長さんや担当の方が、校長会で話ができるみたいな、地域ではこういうことを考えているし、学校はこういう子どもたちに望んでいることをお互いの繋がり中で得ていくような場があればいいのかなと思ひました。北区の校長会は月に1回やっているわけすから、公民館の方に校長会に来てもらって、大いに企画してもらったりするのす、校長先生と公民館がとて繋がりしていることがとて大事すし、そうすると東委員がおっしゃられた子供たちのLGBTQの問題とかにも迫っていけるし、お互いに迫っていけると思ひるので、何かまず校長会に行つて繋がりを作つてということす私を勧めたいなと思ひます。東委員いかがでしょうか。

(東 委 員) 小学校は毎月校長会をやっているのですが、中学校は年4回しかありません。校長会の会議の前に、各団体に来ていただいてご説明いただく機会を持っているので、もしであればそういうところに来ていただいたり、あと学校のHPを見ると年間の行事予定が各学校は載っていると思いますので、見ていただいて日程を決めていただくとか、色々なことが出来ると思います。校長会で是非お話しいただけるとありがたいなと思っております。

(大 原 委 員) 小学校の校長会も同じです。前半に図書館とか公民館、郷土博物館とかが広報に来てくださってチラシをいただいて、私たちは戻って各担当に渡しますので、今おっしゃったことは実際にやっております。学校と地域の繋がりはCSでやらなければいけないことと思いますので、そこは今後やっていきたいと思います。メールは無理です。ホームページのリンクは可能だと思います。最初に担当者がリンクをつけさえすれば、以降はそこへ飛ぶようになるので、ひとつひとつの行事をメールで発信するのは難しいなと思います。

(日 下 議 長) ありがとうございます。今この中だけでもご提案いただいたことで、もししたらHPのリンクならいけるのではないかとこのところにたどり着いたのかなと思っております。それぞれ今校長先生がお二人いますけども、それぞれ学校のHP担当の先生の仕事の量だったり、色々あると思いつながら何か一歩前進できることがあると思って聞かせていただきました。他にご意見がある方いらっしゃいますでしょうか。なければ以上で審議したいものは終了しました。長時間にわたりご審議ありがとうございました。(2)その他第9期豊栄地区公民館運営審議会委員について、事務局お願いします。

## (2) その他

(事 務 局) 第9期豊栄地区公民館運営審議会委員について説明

(日 下 議 長) ありがとうございます。

以上で本日予定されていた議題の審議が全て終了いたしました。進行を事務局にお返しいたします。

(事 務 局) 長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。

それでは、以上をもちまして第8期第4回豊栄地区公民館運営審議会を終了します。大変お疲れ様でした。